

起風会

3月30日に閉会した平成27年稲城市議会第一回定例会(3月議会)では平成27年度の予算案の審査を行いました。4月26日執行予定の稲城市議・市長選を間近に控えることもあり、それを意識した(II)選挙の争点にしたいと考えている()一般質問や陳情が多く提出されているので、各議員の発言・判断を御覧ください。

議会映像検索 www.inagi-city.stream.jfr.co.jp/



議会初日に高橋勝浩市長から施政方針(市の現状、予算編成方針、主要な政策など)が述べられ、その施政方針に対し、各会派から代表質問を行いました。起風会は毎年交代で代表質問をしており、本年は中田が担当しました。補正予算では「地方創生の国補助金を活用した8事業が含まれており、活用方法を中心にチェックしております。一般質問は17名の議員が登壇。中田は教育・ITについて、

鈴木は防災・交通問題や街再生・発展を中心に、任期最後の登壇ということもあり、地域の課題や4年間を総括する質問を行い、この間の成果を確認することが出来ました。建設環境委員会では陳情2件(①長峰地区あすか創建の件、②南山高盛土の件)、議会運営委員会では陳情1件(③議員定数3名削減)があり、大変多くの住民の方々を迎えての審議となりました。



①に關しましては、法的に根本解決が難しいため採択には至りませんが、都市計画マスタープランの不備、市やURが住民理解を深く得られていなかった点は十二分に反省すべきと指摘。今後の条件についての話し合いに市も全力で取り組むとの言葉を「趣旨採択」となりました。予算特別委員会では、1日目に予算全体に關わる総括質問、2、3、4日目に総務・福祉

文教・建設環境の分科会別に詳細審議、5日目に委員会としての採決を行い全てが審議可決されました。起風会としては、市財政の健全性の確保を最優先とし、その上で、地域活性化、防災・消防、教育、インフラ整備など、自らの地域活動の中での気付きや市民からの声が市政に反映されているかどうか、という視点でチェック、そして執行に当たって提案を行いました。また議員提出議案2件(集团的自衛権の閣議決定撤回、原発再稼働反対)が提出されましたが、両件とも会派として「否決」しています。

起風会とは？
(結成理由、方針、4年間の実績)
地に足をつけ、自治会や防災組織、地域行事には主体的(お客さんではなく)に参画し、汗水を流しながら街づくりをする(街頭演説など「選挙活動」と同様の行為ではなく、内部から事を起こす。(しかし、活動報告は常時行う))
党利党略に巻き込まれず、批判のための批判をせず、完全無所属、地域住民の代弁者・代理として束縛無く、あらゆる事象に対して「是々非々」で判断、行動をする。

地域課題の解決に向け 先進自治体を視察！



新しいまちづくりを担う組織「住民協議会」を視察(松坂市)
松坂市は、住民主体のまちづくりを推進するため、自治会中心に地域を包括する組織体「住民協議会」を市内地区に設置しました。設置に至る経緯や制度概要

について市長や担当職員から説明いただいた後、現地視察にも伺いました。主体的に動く住民を増やす取組みとして参考になりました。



農業・観光業の融合(練馬区)
都市農業である稲城市にも応用可能な「農園食堂」(市民農園とレストランが一体化)を視察。他、立川市で調理場が付帯した農園等、+αの付加価値で農業振興を模索。

起風会とは？

二人とも元々は普通の会社員、「脱サラ議員」、常に背水の陣で取り組む姿勢を保つ。
※中田は日本IBM(株)、鈴木は(株)RMC(現RCC)の出身。
以上を約束とし、次の3目標で合意出来たため、新人2人会派が結成されました。
①地域組織の情勢と発展(若葉台を平尾のような調和の取れた地区に)を目指す。既存地域とニュータウンが共に手を携えて持続発展する街・稲城をつくること。
②平尾が近郊都市・ニュータウンとして再生を果たし、将来の向陽台・長峰・若葉台のモデルとなるようにすること。

③健全財政の維持と市内地域格差を解消すること。



起風会を結成(2011.5撮影)以来4年間、日々会派内討論の連続でした。

また、基本中の基本である「安心安全の暮らし」を実現する防災・救急体制の整備に防災人として取り組み、子育て世代(社会を支える20、40歳代)の一員として、責任を持って次世代のために成すべきことを成して来ました。

昨年話題となった「号泣議員」
稲城市議会にはいないよね？
起風会に聞く
《インタビュー：近藤信彰》

★普段聞けないことも遠慮なくということ、皆知りたいだろうことを聞きませ。議員は暇」と揶揄されますが、公務以外はどんな活動をして、実際の休みはどれくらいですか？

中田：自治会、自主防、管理組合などの地縁組織と青少年、体育振興会などの地域活動を行っています。お休みは月4〜5日程度です。

鈴木：私は自治会事務局長、消防団、青年会議所、神社奉賛会等をはじめ、身体と時間が許す限り活動しています。休みは月平均2〜3日程。多くの方々と交わる日々で大変充実しています。

★元々サラリーマンのお二人の目線で、内部から見た議員・議会はいかがですか？
鈴木：私が議員を目指した理由は、「世代循環型の街をつくろう」という想いからです。そのためには和の精神で地域・議会・行政が協議して前に進む必要があります。思想は違えど、日々粉骨碎身の活動をされている議員が多いですが、一部にはとにかく批判ありき、批判のための批判がスター

トという方もいらっしゃると思います。議会は議論の場、指摘と同時に代替・次善策も提示する必要がありますね。

★ひとつ耳が痛い話を。昨年話題となった号泣議員の政務活動費不正使用をはじめ、議員の資質が問われ、議員報酬や議員定数の削減も取り沙汰されるご時勢で



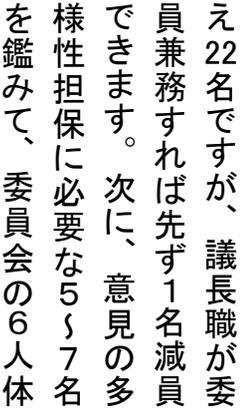
すがどう考えられますか？

中田：一昨年の12月議会で、市職員の一定期間給与引き下げに併せ議員も姿勢を見せるべきという議員提出議案があり否決されました。

★起風会はどのように考え、どう対応されたのですか？
中田：職員の引き下げは国の勧告、議員報酬は市民中心の審議会の決定です。私は選挙向け政治には組みませせん。ただ姿勢を見せるということは一理あると感じ、工夫を凝らして同年度の政務活動費を20万円近く削減して返納しました。

★政務活動費・報酬の件はわかりましたが、議員定数削減はどう考えますか？

鈴木：「大幅減員！」と最初から息巻いても議会同意は得難いです。私達は現実的に同意が取れる数で着実に進める方針です。現在の稲城市議会は実質7人×3常任委員会21名に議長を加え22名ですが、議長職が委員兼務すれば先ず1名減員できます。次に、意見の多様性担保に必要な5〜7名を鑑みて、委員会の6人体制化を目指していきます。



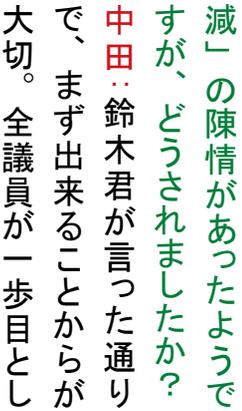
★すると、最大で4名減員、稲城市議会は22名→18名と

いうことでしょうか？
鈴木：はい。ただし注意すべき点は、ご質問された通りのご時勢ですから議員数の「増員」は今後難しいということ。よって、所沢市などもそうなのですが、議員定数に弾力的な幅を持たせ18〜22名としておき、情勢に応じてその時の議員並びに市民の皆様で決められれば良いと考えます。私達が未来の稲城を担う次の

方々の可能性を掴み取って

しまうのも不公平です。中田：補足すると、「単純に議員削減すれば議会の質が高まるか」（怠慢議員が減るか）というところでもない。選挙運動や票集めに長けた方、或いは組織力のある方が当選しますので、「両刃の剣」だと捉えています。

★先日の議会では「3名削減」の陳情があったようですが、どうされましたか？
中田：鈴木君が言った通りで、まず出来ることから大切。全議員が一歩目として乗り出してくれるだろう「1名減」を議員定数特別委員会の中で提案しています。更なる議論が必要ですが、



★わかりました。では最後に、地方議員に必要な資質はなんだと思いますか？

中田：会派の結成理由や方針と被ってしまいますが、パフォーマンスではない、地に足つけて、現場で汗かいて、不正なく、批判は勿論、アイデアにも富み、何よりも意志や人格、行動などの透明性が高いことが最低限求められる資質と考えます。

鈴木：透明性だけは自信ありますよ。365日、全日Web上で公開してからです！
中田：だから鈴木君はやり過ぎだ。出る杭は打たれる」の見本だね（笑）

子育て世代、腹をくくった脱サラ議員2名。次世代に必ず「良い街」を残します！

議員番号 14 番、鈴木 誠 すずきまこと

議員番号 13 番、中田 中 なかたあたる

法政大卒→(株)リクルート(現RCO)正社員入社。大卒後、結婚を期に幼少期を過ごした平尾に戻る。平成23年、稲城市議会議員初当選。昭和57年5月生まれ・32歳O型。妻子(娘3人)、親世帯、愛犬1匹との大家族暮らしを實踐中。



- 【役職・資格等】
- ・稲城市議会議員(現職最年少)
 - 同 建設環境委員会 委員
 - 同 議員定数調査特別委員会 委員
 - ・稲城市消防団第六分団(平尾地区) 団員
 - ・稲城青年会議所 副理事長
 - ・稲城市バドミントン連盟(男子代表選手)
 - ・稲城中高生のための第九演奏会実行委員
 - ・杉山神社奉賛会 理事
 - ・平尾宅地分譲自治会 事務局長
 - ・日本防災士機構 認定防災士
 - ・日本赤十字社 救急法救急員
 - ・東京都三市収益事業組合議会議員
 - ・林英臣政経塾 塾士補(第九期生) 他
- www.inagi.info



都立科学技術大(現首都大)卒→日本HP、日本IBMに勤務。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稲城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稲城市教育委員、平成23年に稲城市議会議員初当選。昭和44年6月生まれ、45歳B型、妻子(息子1娘1)愛犬1匹と同居。



- 【役職・資格等】
- ・稲城市議会議員
 - 同 福祉文教委員会 前副委員長
 - 同 総務委員会 副委員長
 - 同 議会運営委員会 委員
 - ・稲城市土地開発公社 評議員
 - ・若葉台ワルツの杜 団地自治会 役員
 - ・若葉台ワルツの杜 団地管理組合法人 理事長
 - ・若葉台ワルツの杜 自主防災組織 本部長
 - ・若葉台ワルツの杜 防火管理者
 - ・地域教育懇談会六中ブロック 会員(PTA OB)
 - ・青少年育成若葉台地区委員会 地区委員
 - ・若葉台体育振興会 会員
 - ・日本防災士機構 認定防災士 他
- www.ataru-nakata.com